

イーストスプリング・ インドネシア債券オープン (毎月決算型)

追加型投信／海外／債券

第41期(決算日 2015年9月18日)
 第42期(決算日 2015年10月19日)
 第43期(決算日 2015年11月18日)
 第44期(決算日 2015年12月18日)
 第45期(決算日 2016年1月18日)
 第46期(決算日 2016年2月18日)

作成対象期間(2015年8月19日～2016年2月18日)

第46期末(2016年2月18日)	
基準価額	6,007円
純資産総額	41,088百万円
第41期～第46期 (2015年8月19日～2016年2月18日)	
騰落率	0.1%
分配金合計	600円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒
 上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを
 表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を
 選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インドネシア債券オープン(毎月決算型)」は、2016年2月18日に決算を行いました。

当ファンドは、主としてインドネシアの債券に投資を行う投資信託証券に投資を行い、インカム・ゲインの確保および中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

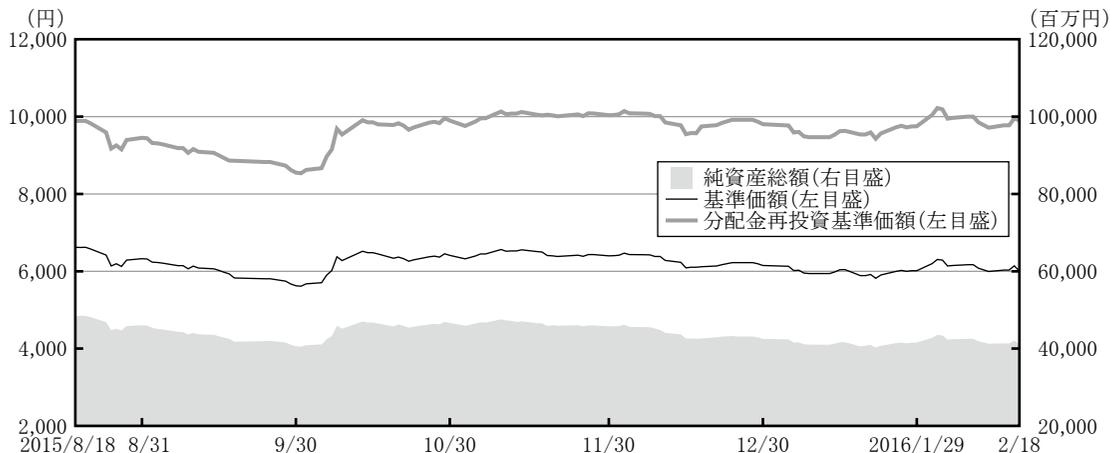
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

基準価額等の推移について(第41期～第46期:2015年8月19日から2016年2月18日まで)



第41期首	6,618円
第46期末	6,007円 (既払分配金600円)
騰落率	0.1% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

インドネシア債券は、当作成期初から2015年9月下旬にかけて中国経済の先行き懸念や米国の利上げを巡る不透明感を背景に世界的にリスク回避姿勢が強まったことから弱含み(利回りは上昇)となりました。インドネシアルピアも対円で弱含みとなり基準価額は下落しました。しかし、10月初めには米国の利上げ先送り観測が高まり、債券、ルピアともに急反発(債券利回りは低下)し基準価額は上昇しました。その後、当作成期末までリスク回避の動きが強まり為替市場で円高が進んだため基準価額は再び下落しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第41期～第46期 2015/8/19 ～2016/2/18		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	38円	0.614%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、6,154円です。
(投信会社)	(13)	(0.216)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(24)	(0.385)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.012)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(0)	(0.002)	目論見書及び運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	38	0.617	

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

決算日	2012/2/29 設定日	2013/2/18	2014/2/18	2015/2/18	2016/2/18
基準価額 (円)	10,000	10,858	7,432	7,883	6,007
期間分配金合計(税込み) (円)	—	500	970	1,200	1,200
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	14.3	△23.4	23.8	△8.7
純資産総額 (百万円)	100	1,785	3,775	36,591	41,088

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

投資環境について

○海外債券市況

インドネシア債券は当作成期初から2015年9月下旬にかけては、中国経済の先行き懸念や米国の利上げの時期を巡る不透明感から世界的にリスク回避姿勢が強まり、弱含み(利回りは上昇)となりました。しかし、10月初めに発表された米国の雇用統計が弱い内容であったことから、米国の利上げ先送り観測が台頭しリスク回避姿勢が和らぎました。加えて、インドネシアのインフレ率の沈静化なども好感され、9月まで大幅に下落していたインドネシア債券は急反発(利回りは低下)しました。また、政府が9月から相次いで景気刺激策を発表したことを受けて、株式、為替市場が底堅い展開となったことも好材料となりました。2016年1月は中国の株安や原油安の急激な進行などにより世界的にリスク回避姿勢が強まりましたが、インドネシア債券市場には海外投資家からの旺盛な資金流入が見られました。同月、インドネシア中央銀行(BI)は経済指標の好転を背景に0.25%の利下げに踏み切ったところ債券価格は上昇(利回りは低下)し、当作成期末にかけては市場で追加利下げ期待が高まってさらに上昇しました。

○為替市況

インドネシアルピアは中国の景気減速懸念や米国の利上げ時期を巡る不透明感から2015年9月下旬にかけて対米ドル、対円ともに下落したものの、10月初めに米国の利上げ先送り観測が高まると急反発しました。当作成期末にかけてリスク回避の円買いがみられたことから円高ルピア安となりました。

○国内債券市況

日本国債市場は当作成期初から2015年12月初めにかけては狭い値幅ながらも、日銀の長期国債買い入れオペによる需給逼迫化を背景に底堅い展開となりました。12月に入り、日本株が軟調な地合いに転じるとリスク回避の動きがみられ、債券価格は上昇(利回りは低下)しました。2016年1月末に日銀が追加緩和で初のマイナス金利導入を決定すると、さらに価格は急騰しました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

主要な投資対象のひとつであるイーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド(以下「インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」という場合があります。)の組入れ比率を高位に保つよう運用しました。

○インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

主としてインドネシアの債券に投資を行い、インカムゲインの確保とトータル・リターンを最大化を目指して運用を行いました。当作成期間は債券価格の上昇がプラスに寄与したものの、通貨ルピアが対円で大きく下落したことがマイナス要因となりました。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。債券価格が大幅に上昇(利回りは低下)したことがパフォーマンスにプラスに寄与しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考情報を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
	2015年8月19日 ～2015年9月18日	2015年9月19日 ～2015年10月19日	2015年10月20日 ～2015年11月18日	2015年11月19日 ～2015年12月18日	2015年12月19日 ～2016年1月18日	2016年1月19日 ～2016年2月18日
当期分配金 (円)	100	100	100	100	100	100
(対基準価額比率) (%)	1.687	1.554	1.537	1.609	1.671	1.637
当期の収益 (円)	37	42	41	35	34	39
当期の収益以外 (円)	62	57	58	64	65	60
翌期繰越分配対象額 (円)	1,411	1,354	1,296	1,232	1,167	1,107

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) ー印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

主要な投資対象のひとつであるインドネシア・ボンド・マスター・ファンドの組入れ比率を高位に保つことを基本とします。

○インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

日欧など各国中央銀行による金融緩和政策によって生まれた流動性は、インドネシア債券市場にとりサポート要因となると考えています。また、インドネシア中央銀行は今後も経済指標の改善を背景に、通貨ルピアの安定した推移が確認されれば追加の利下げに踏み切るとみられており、債券市場を取り巻く環境は好転しています。しかし一方で、米国がより積極的な金融引締め策を講じるなどした場合は通貨ルピアの下落リスクも予想され、今後も注意が必要です。市場の変動局面では機動的にデュレーションをコントロールし、市場を取り巻くリスクに注意を払いつつ運用を行っていく方針です。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるBofA Merrill Lynch 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。インフレ率の低迷や日銀による積極的な量的緩和政策などから、国債利回りは低位で安定的に推移すると思われれます。

お知らせ

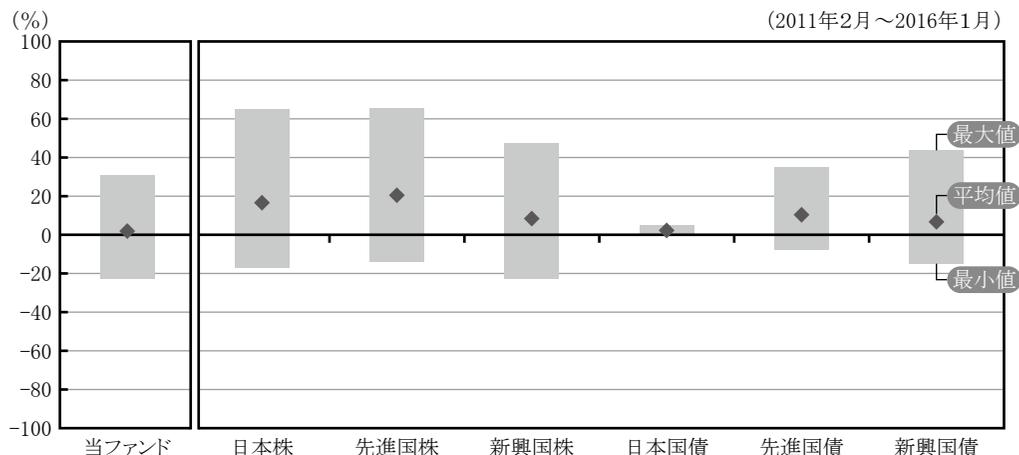
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	原則として無期限(2012年2月29日設定)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの債券に投資を行うことにより、インカム・ゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資信託「イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」(円建て)の受益証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎月18日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.9	16.6	20.5	8.4	2.3	10.3	6.7
最大値	30.6	65.0	65.6	47.3	4.5	34.9	43.7
最小値	-23.0	-17.0	-13.7	-22.9	0.4	-7.5	-15.0

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2011年2月から2016年1月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※当ファンドは2012年2月29日に設定されたため、ファンドの年間騰落率は2013年2月以降のデータをもとに表示しています。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド

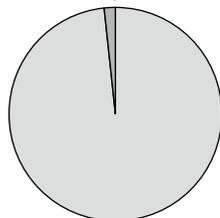
(組入銘柄数:2銘柄)

ファンド名	第46期末 2016年2月18日
イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド	98.2%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)	0.1%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分

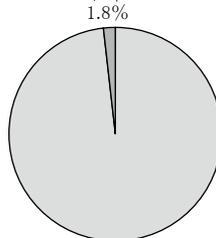
コール・ローン等、その他
1.7%



投資信託証券
98.3%

○国別配分

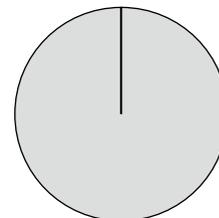
日本
1.8%



ケイマン諸島
98.2%

○通貨別配分

日本円
100.0%



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第41期末 2015年9月18日	第42期末 2015年10月19日	第43期末 2015年11月18日	第44期末 2015年12月18日	第45期末 2016年1月18日	第46期末 2016年2月18日
純資産総額	41,769,211,082円	45,748,206,342円	45,839,359,437円	42,626,908,023円	40,578,279,948円	41,088,461,093円
受益権総口数	71,668,407,523口	72,201,898,121口	71,532,572,184口	69,692,881,514口	68,944,387,494口	68,399,707,497口
1万円当たり基準価額	5,828円	6,336円	6,408円	6,116円	5,886円	6,007円

* 当作成期中(第41期～第46期)において追加設定元本額は7,751,612,261円、一部解約元本額は12,205,525,879円です。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

(計算期間 2014年1月1日～2014年12月31日)

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移



○組入上位10銘柄

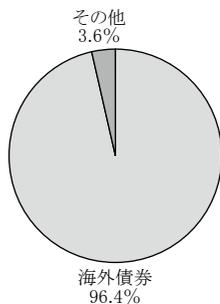
(組入銘柄数:52銘柄)

銘柄名	種別	国・地域	比率
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	10.9%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	8.5%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	8.4%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	7.5%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	4.3%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	3.9%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	3.5%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	3.0%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	2.6%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	2.6%

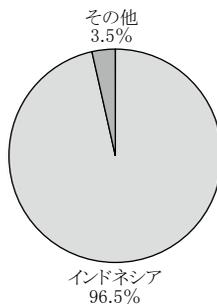
○1万円当たりの費用明細

イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンドのFinancial Statements(監査済み)には、1万円当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

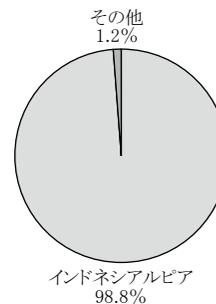
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社が入手可能な2014年12月30日時点のものを使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

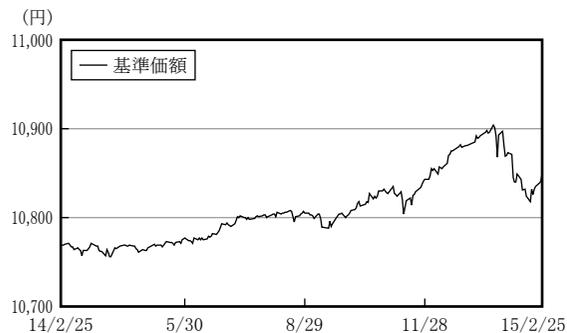
(注3) インドネシアルピア以外の通貨建ての債券に投資を行う場合には、原則として、実質的にインドネシアルピア建てとなるよう為替取引を行いますので、通貨別配分は当該為替取引を考慮し算出しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

◆イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

(計算期間 2014年2月26日～2015年2月25日)

○基準価額の推移



○組入上位10銘柄

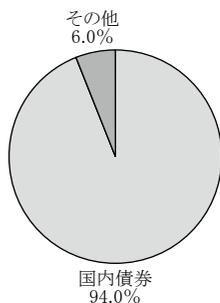
(組入銘柄数:27銘柄)

銘柄名	種別	国・地域	比率
第285回利付国債(10年)	国債	日本	7.6%
第48回利付国債(20年)	国債	日本	5.3%
第63回利付国債(20年)	国債	日本	5.2%
第42回利付国債(20年)	国債	日本	5.1%
第298回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
第311回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
第284回利付国債(10年)	国債	日本	4.7%
第67回利付国債(20年)	国債	日本	4.7%
第69回利付国債(20年)	国債	日本	4.3%
第280回利付国債(10年)	国債	日本	4.2%

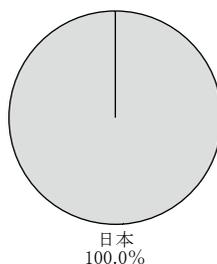
○1万円当たりの費用明細

項目	金額
(a) 信託報酬 (投信会社)	23円 (15)
(a) 信託報酬 (販売会社)	(2)
(a) 信託報酬 (受託会社)	(6)
(b) その他費用 (監査費用)	3 (3)
合計	26

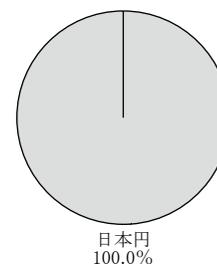
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万円当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、費用項目の概要および注記については、2ページの「1万円当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2015年2月25日現在のものです。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

指数に関して

○当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」のベンチマークについて

- ・バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA-BPIは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
- ・シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。